

# 日本銀行大阪支店

設計:辰野金吾/葛西万司/長野宇平治  
竣工:明治36年(1903)  
住所:大阪府北区中之島1-23  
交通:地下鉄御堂筋線淀屋橋駅徒歩2分



明治建築界の大御所、辰野金吾が後輩の葛西万司/長野宇平治【ながのうへいじ・慶応3年(1867)～昭和12年(1937)】と共に設計したレンガと石造りの本格的洋風建築である。鉄骨I型梁、波型鉄板製の防火床、鉄骨のドーム架構など当時の最先端の技術を駆使して建てられた。また、日銀本店と同様に、石貼りとなっているが、本店が御影石を使用しているのに対し、この大阪支店は花崗岩を使用しているため、全体的な印象がかなり異なっている。なお、後方に見えるのは新館である。



この地は、江戸時代は島原藩の蔵屋敷があったという。そして、明治4年(1871)前島密【まえじまひそか・天保6年(1835)～大正8年(1919)】によって郵便制度が設けられた際にここに「郵便役所」が設けられた。その当時の「郵便役所」は東京・京都・大阪の3箇所だけであった。いわば、これが「日本最初の郵便局」ということになる。この記念碑は日銀大阪支店の正面から向かって左側の隅(上の写真のちょうど左端の位置)にひっそりと建っている。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。